

飼料用米に取り組まれる農業者の皆様へ

令和6年産から**一般品種**（主食用品種）による飼料用米は水田活用の直接支払交付金における戦略作物助成の**支援単価が段階的に引き下げ**になります。

○ 単価変更スケジュール（農林水産省資料を参考に作成）

（10a当たり）

	令和5年産	令和6年産	令和7年産	令和8年産
一般品種 （引き下げ）	数量に応じて 5.5～10.5万円 （標準単価8.0万円）	・数量に応じて 5.5～9.5万円 （標準単価7.5万円） ・または、単価7.5万円	・数量に応じて 5.5～8.5万円 （標準単価7.0万円） ・または、単価7.0万円	・数量に応じて 5.5～7.5万円 （標準単価6.5万円） ・または、単価6.5万円
多収品種 （単価維持）	数量に応じて 5.5～10.5万円（標準単価8.0万円）			

○ 一般品種とは、「ひとめぼれ」や「まなむすめ」等の主食用米として生産される品種のことをいう。

○ 多収品種とは、国が指定する21品種（「ふくひびき」、「夢あおば」、「べこあおば」等）と知事特認品種の「東北211号」を指す（令和5年3月時点）。

○ 所得の目安（令和4年産価格水準を基に試算）

（単位：万円/10a）

作物	年産	収入				経営費	所得	主食用米との差 （10a当たり）	備考
		販売額	戦略作物 助成	産地 交付金 （国・県）	合計				
主食用米		9.7	—	—	9.7	8.6	1.1	—	ひとめぼれ 販売単価 10,800円/60kg 単収 512kg/10a
飼料用米 （多収品種）	R5～R8	1.4	10.5	0.3	12.2	9.2	3.0	1.9 万円	多収品種（東北211号） 販売単価 792円/60kg 単収 720kg/10a
飼料用米 （一般品種）	R5	1.2	8.7	0.3	10.2	8.6	1.6	0.5 万円	まなむすめ 販売単価 792円/60kg 単収 580kg/10a
	R6	1.2	8.0	0.3	9.5	8.6	0.9	-0.2 万円	まなむすめ 販売単価 792円/60kg 単収 580kg/10a
	R7	1.2	7.4	0.3	8.9	8.6	0.3	-0.8 万円	まなむすめ 販売単価 792円/60kg 単収 580kg/10a
	R8	1.2	6.8	0.3	8.3	8.6	-0.3	-1.4 万円	まなむすめ 販売単価 792円/60kg 単収 580kg/10a
（参考）	輸出用米	8.2	—	3.0	11.2	8.6	2.6	1.5 万円	主食用多収品種 販売単価 7,236円/60kg 単収 640kg/10a
	加工用米	7.8	2.0	0.5	10.3	8.6	1.7	0.6 万円	まなむすめ 販売単価 7,560円/60kg 単収 580kg/10a
	米粉用米	2.4	7.5	0.3	10.2	8.6	1.6	0.5 万円	ひとめぼれ 販売単価 2,268円/60kg 単収 512kg/10a

○ 販売額は税込み、令和4年産の販売価格等を参考に試算（ただし、流通に伴う手数料は控除していない）。副産物収入を含む。

○ 経営費は生産費統計（家族労働費は除く）を引用し、直近の物価上昇率を考慮。多収品種は栽培指標に基づく施肥管理（肥料増加分）を反映。

○ 産地交付金は、令和5年産の助成内容で試算。また、市町村の地域農業再生協議会が設定する助成がある場合は別途加算される。

○ 単収はふるい目1.9mmで試算。なお、令和4年度までは飼料用米の数量払いの単価計算にはふるい下も含めた合計収量により計算していたが、令和5年度から1.7mmふるい上の収量を用いて、数量払いの単価を計算するよう変更となった。

○ 表の合計等はラウンドのため一致しない。

令和6年産飼料用米多収品種の種子確保について

○ 宮城県農業再生協議会では「東北211号」の種子と「ふくひびき」の転用種子で令和5年産の県内多収品種作付面積の約2倍の種子を確保する予定です。

○ 多収品種種子に**需要が集中する可能性がありますので早めの注文**をお願いします。

● 予約・販売の受付については各JAにご相談ください。また、日本草地畜産種子協会でも多収品種種子（「東北211号」や「ふくひびき」を除く）の直接注文が可能です。種子協会の予約販売受付期間は令和5年7月3日～令和5年11月30日となっています。

※種子協会のホームページ（<http://souchi.lin.gr.jp>）で予約申込書を手入の上、FAX(03-3251-6507)等でお申込みください。

○ 主な多収品種の特徴

品種	出穂期	成熟期	収量性 (kg/10a)	脱粒性	耐冷性	耐倒伏性	主な購入先
東北211号	8月8日	9月30日	719 (粗玄米)	難	強	強	JA
夢あおば	8月1日	9月17日	739 (粗玄米)	難	弱	かなり強	JA・種子協会
ふくひびき	8月9日	9月23日	703 (粗玄米)	難	やや弱	強	JA
(参考) まなむすめ	8月3日	9月12日	586 (ふるい目1.8mm)	難	やや強～強	やや強	JA

※「東北211号」及び「夢あおば」は平成26年～28年の平均（県内現地）、「まなむすめ」は平成30年～令和4年の平均（試験地：古川試験場）。

※「ふくひびき」は秋田県大仙市での試験（調査年次は昭和62年～平成4年）。

主食用米への混入を防ぐため、以下の点を再確認しましょう

1 ほ場における混入対策

多収品種の後作では、こぼれ糶から発芽した「漏生イネ」による混入を防ぐため、下表の対策を実施するか、主食用米の栽培を避け、畑作物の作付や飼料用米栽培ほ場として固定することが望ましいです。

表：漏生イネ（多収品種由来の落下種子）対策

対策の検討時期	対策
多収品種の栽培中・収穫時	・ほ場に糶を極力残さない栽培（倒伏させない、品種に応じた適期収穫等）
多収品種の収穫後 ○ 後作が主食用米の場合	・収穫後、翌春まで耕起しない ・翌年は漏生イネが発生しやすい直播栽培を避け、移植栽培とする ・翌年は代かき後又は移植直後に、プレチラクロールを含む初期除草剤を散布
○ 後作が主食用米以外の場合	・翌年は大豆等の畑作物を栽培 ・当該ほ場を飼料用米栽培ほ場として固定化

※ 飼料用米栽培マニュアルより抜粋（平成29年3月宮城県）

2 収穫時の混入対策

コンバインの清掃作業のポイント

- ① エンジンを止め、パーツを外し、内部を見やすくすることで安全かつ高精度に清掃できます。
- ② 上から下へ清掃し、穀粒の再混入を防ぎます。
- ③ 穀粒が残りやすい部位、内部構造を理解することで、高精度に清掃できます。
- ④ ブロアー（送風機）を各部位の構造に合わせて、徐々に強くしたり、断続的に送風することで効率よく高精度に清掃できます。

（コンバイン機内清掃マニュアル（農研機構）を参考に作成）

3 乾燥調製時の混入について

乾燥・調製においても、品種切り替えの際には清掃を行い、異品種の混入のないようご注意ください。

飼料用米多収品種の作付は、事前に乾燥調製施設の受け入れ態勢を確認の上、計画的に取り組みされるようお願いいたします。

宮城県農業再生協議会

（お問合せ）宮城県農政部みやぎ米推進課 電話022-211-2842